

2012 年度活動報告書

役職：講師
氏名：赤羽 亨

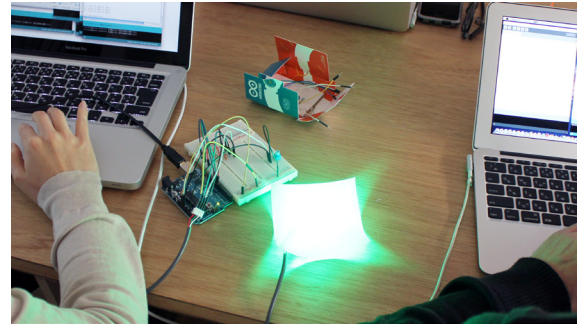
プロジェクトでの活動

1 アドバンストデザインプロジェクトの活動

デザインプロセスに関する研究、またメディア表現に関するワークショップ開発を Generative Idea Flow (以下GIFという。)と共に行った。また、その成果は、実際に実施された、学生向けのワークショップや、デザイナー向けのワークショップに反映された。



ex-Workshop Trial



Interaction design workshop

2 豊田中央研究所共同研究プロジェクト

このプロジェクトでは、自動車に使われる技術を利用したユーザエクスペリエンスを考慮したインタラクティブデザインによる新たな提案としてのプロトタイプの実現を目指している。2012年度は、主にエレクトロマグネティックパッケージ(電波で人を包み込む技術)を用いたプロトタイプ制作を他の教員・学生と共に行った。



電磁場変動センサを利用したプロトタイプ 安藤充人



F to F 山田 龍成

アドバンストデザインプロジェクトの学生研究と豊田中央研究所共同研究プロジェクトの研究成果は、「一歩下がり、二歩進む」展で発表した。また、Generative Idea Flow と開発したワークショップは、403 Forbiddenというスペースで、「ex-Workshop trial」、「Interaction Design Workshop」として実施した。

学外での活動

1. 「プロセスアーカイブシステムによるインタラクションデザインワークショップ」

2012年5月26日、日本大学芸術学部江古田校舎デザイン学科アトリエを会場に、GIF(赤羽亨・高尾俊介・細谷誠・京野朗子)による「プロセスアーカイビングシステムによるインタラクションデザインワークショップ」を実施した。

アーカイブからアイデアインスピレーションを得て展開させたアイデアプロセスが再びアーカイブされ活用されるという「プロセスアーカイブシステム」の大きな流れを経験するワークショップとなった。

また、当日はワークショップのプロセス自体も撮影し、リアルタイム含めオンラインにアップロードしていく、ワークショップのアーカイブに関しても試行を行った。



スタイロフォームを用いたプロトタイピング



制作プロセスの記録

2. Interaction Design Workshop – Designing Ambient Devices

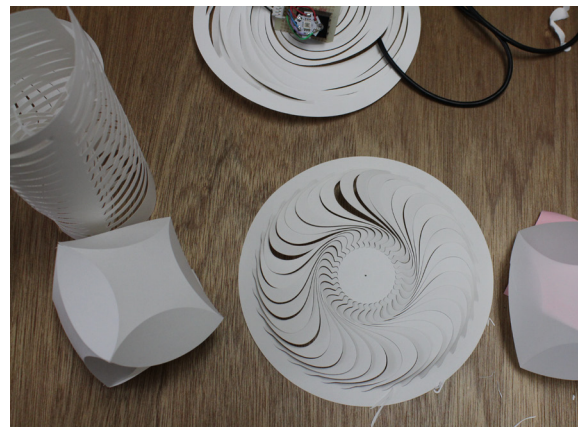
2012年6月30日(土)、東京・外苑前のコラボレーティブスペースでGIFも共同運営に参加している「403 Forbidden」において「LEDを用いたアンビエントデバイスデザインワークショップ」を実施した。

大学などの教育現場ではなく、アクシスデザインを中心にした企業デザイナーの方が参加者となる試みとなった。

このワークショップでは、アンビエントデバイスを想定した、プログラムされたLEDによる視覚効果のデザイン、また、そのデバイスの形状をCraftROBOを用いてラビットプロトタイピングするところまで行なった。



アンビエントデバイスのプレゼンテーション



切り出されたライトシェード

学外での活動

3. 光るイヤホンアクセサリPina

a. 「光るイヤホンアクセサリPinaワークショップ」 Make: Ogaki Meeting

Make: Ogaki Meeting(2012年9月25日・26日、岐阜県大垣市・ソフトピアジャパンセンター)において、株式会社エージーリミテッド、テクノ手芸部と共同で、アプリ連携ピンアクセサリの電子工作キット「Pina kit」の先行販売と「光るイヤホンアクセサリPinaワークショップ」を行った。

展示ブースにおいて「Pina kit」シリーズの実演販売を実施。「Pina kit」は、電子基板と、レーザーカッターで切り出されたフェルトパーツを自由に組み合わせて、自分だけのアニマル型ピンアクセサリ「Pina」を制作することができる。会期2日間であわせて92個の「Pina kit」を販売した。

同様のワークショップを、年度内に計3回行った。



Pinaの展示風景



ワークショップ参加者の作業風景

b. 「光るイヤホンアクセサリ Pina ワークショップ -クリスマスバージョン-」

2012年12月9日(日)14:00-15:00、二子玉川ライズ カタリストBAにおいて「光るイヤホンアクセサリ Pina ワークショップ -クリスマスバージョン-」を開催した。参加者10名には、クリスマスバージョンのサンタとトナカイの「ぴかぴか Pinakit」のどちらかを、解説に沿って制作してもらった。

完成した「Pina」をツリーに挿して動作確認した後、実際にiPhoneアプリ「ぴかぴか Pina」と連携させて、参加者には光りかたをコントロールしてもらった。

最終的には、各自が設定したテーマに沿った光りかたのパターンを記憶させ発表した。



ワークショップ風景



PinaツリーでのLED点灯

学外での活動

d. Pina - 展示 & ワークショップ

「一歩さがって、二歩すすむ // One Step Back, Two Steps Forward」展

情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] が2012年12月21日―23日に東京で開催された展覧会「一歩さがって、二歩すすむ // One Step Back, Two Steps Forward」展においてPinaの展示を行った。

また会期中に、展示したPinaを題材に、「Pinaワークショップ」を開催した。

今回は、キット制作と合わせ、iPhoneアプリと連携させた光り方のプログラミングに関する、より詳しい解説を盛り込んだものとなった。



展示風景



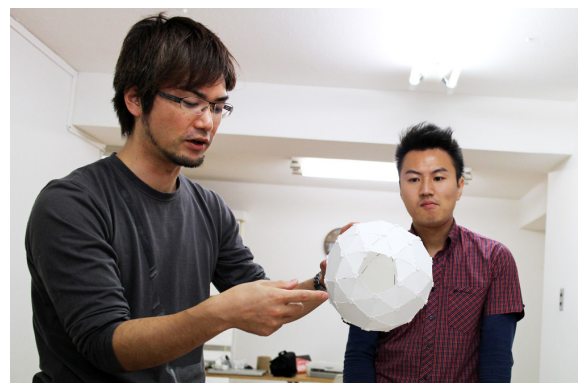
光り方のプログラミング

4. Surface & Architecture + Generative Idea Flow 「合宿」

2012年10月14日(日)、株式会社Surface & Architecture(<http://www.surface-arch.com/>)と共同で「合宿」を開催した。「合宿」とは、同じ場所、時間を共有しながら、各自が決めたテーマにそって、開発、調査など集中的に取り組む集まりである。 これを通して、参加者のスキルアップ、参加者間の講習、新しい共同プロジェクトの創出を主な目的としている。 2ヶ月―3ヶ月に1回の開催を目指しており、2013年3月9日(土)にも行い、15人の参加者が集まった。



作業風景



制作物のプレゼンテーション風景

ワークショップ・展示：

1. Interaction Design Workshop – Designing Ambient Devices

2012年6月30日 403 Forbidden

・「LEDを用いたアンビエントデバイスデザインワークショップ」の実施

2. Make: Ogaki Meeting

2012年9月25日–26日 岐阜県大垣市・ソフトピアジャパンセンター

・「Pina kit」の販売

・「光るイヤホンアクセサリPinaワークショップ」の実施

3. Maker Faire Tokyo 2012

2012年12月1日–2日 日本科学未来館

・「Pina」の展示

4. 「光るイヤホンアクセサリ Pina ワークショップ -クリスマスバージョン-」

2012年12月9日 二子玉川ライズ カタリストBA

・「Pina ワークショップ -クリスマスバージョン-」の実施

5. 「一歩さがって、二歩すすむ // One Step Back, Two Steps Forward」展

2012年12月21日–23日 SHIBAURA HOUSE

・Pinaの展示

・「Pinaワークショップ」の実施

6. 「rooms 26」

2013年2月12日–14日 国立代々木競技場第一体育館

・Pinaの展示

受賞：

Yahoo! Japan! インターネットクリエイティブアワード

スマートデバイスアプリ部門:Silver

・iPhoneアプリ連携の光るイヤホンアクセサリ&アプリ ぴかぴかPina

飯野 健一、上原 昭宏(Ag Ltd.) 赤羽 亨、高尾 俊介、京野 朗子(Generative Idea Flow)

石郷 祐介、よした ともふみ(テクノ手芸部)